

WWW—CGI 検索プログラムの作成 (3) 「農林漁業に関する現地情報」の検索および入力支援プログラム

柴田 静香 (九川農業試験場)

Shizuka SHIBATA . WWW-CGI Program(3)

1. はじめに

前回報告した，九州農政局発行「農林漁業に関する現地情報」の検索プログラムでは，1項目のみの検索しか出来ないためデータ件数が多くなると目的の内容にたどり着くための操作が多く時間がかかり使い勝手が悪い，検索エンジンを用いて直接そのページをみた場合，引用条件や問い合わせに関する注意事項が書かれている九州農政局からの「利用上の注意」を読むことが出来ないため，農政局の趣旨に反する可能性があった。

操作性を良くし，利用上の注意を読めるように改善するため，今回は，年・月・県名の各項目およびキーワードによる複数条件同時検索ができ，表示件数も任意に設定できるよう，システムの拡張を行った。

また，タグ付けの労力を軽減することを目的とし，検索用データおよびタグ付けされたHTMLコンテンツ作成を容易にするCGIフォームを利用した入力支援システムをあわせて作成した。

2. システムの構成

今回のシステムは，「入力サブシステム」「検索サブシステム」「現地情報ホームページ」の3つのサブシステムから構成されている。

サーバ側のプログラム言語はPerl4を利用している。クライアントOSやブラウザの制約はないが，入力作業を行うマシンについてはブラウザでCookieを利用する設定とするほうが望ましい。

3. 入力サブシステム

入力が必要とする項目は，年，月，通し番号，情報タイトル，場所（県市町村名），情報の内容である。その他必要な号の連絡先も入力可能としている。なお，「農林漁業に関する現地情報」には，情報の内容が含まれている「本文抄録」と，タイトルのみの「テーマ抄録」の2種の情報がある。そこで，本文を入力するか否かによって，検索用データおよびHTMLコンテンツに自動的にどちらかの情報かを表示できるようにした。

入力フォームを開き，各項目の入力を終えたあとに登録ボタンを押すと，HTMLコンテンツが作成されると同時に，リンクリストと検索用のデータが自動的に追記される。

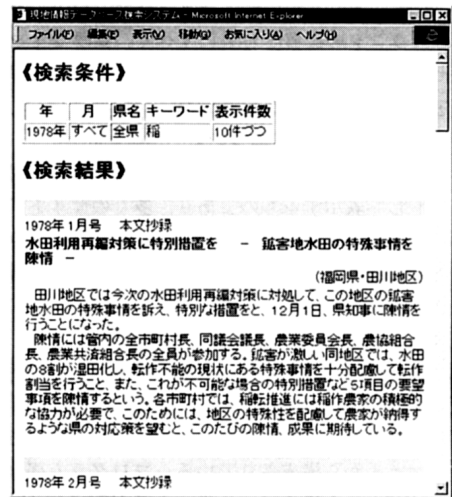
年 月 など，同じ内容の入力が続く項目については，Cookieを利用することでフォームに入力項目を残し，再入力を行う手間を省いた。

データ入力を行えるクライアントを，IPアドレスによって限定し，データの改ざんを防いだ。

4. 検索サブシステム

検索サブシステムは，「利用上の注意」を読み，「同意する」を選んだ場合のみ利用できるように設定してある。ここで，年，月，県名，キーワードといった検索条件を入力して検索ボタンを押すと検索を行うことができる。

表示は，10以下の任意の件数ずつ表示することができ，それ以上の件数については次のページへのリンクをたどることによって表示することが出来るようにした。



5. 現地情報ホームページ

現在，入力支援システムを利用してデータの入力作業中で，入力が進み次第，新しくこの内容を九州農業試験場Webサイト (<http://www.knaes.affrc.go.jp/>) にて公開する。

